

栗島廻船主達の北海道・ 日本海地域の痕跡を探して

香川・北海道移住記録資料研究会
講 師 北原敏雄氏



日時 令和8年1月23日(金)

午後1時30分~3時

場所 マルタス1階多目的ホール

定員 60人 ※予約不要・先着順

料金 無料

問合せ 丸亀市立中央図書館

TEL0877-22-3746



「弁財船住吉丸図絵馬」 厳島神社奉納絵馬調査報告書 礼文町教育委員会より

栗島調査に何故足を踏み入れたか。
北海道襟裳岬にある襟裳神社に江戸時代（嘉永3年）に奉納されている手水鉢があることを資料から発見し、奉納人物が栗島廻船を営んでいた升屋虎蔵であることがわかった。栗島廻船主達の調査に栗島を訪れ、廻船家墓地、神社、石造物等の調査を行っている。

福井県足羽山で採掘された笏谷（しゃくたに）石で制作されている灯籠、墓石が瀬戸内海栗島で初めて発見された。

これらは、江戸時代から北海道、日本海沿岸との交易・交流が行われていた痕跡がわかる貴重な資料である。



「手水鉢」 えりも町ふるさと発見シリーズ2 石碑石仏

えりも町教育委員会 えりも町郷土資料館ほろいすみより抜粋